



会長あいさつ

上山 泰寛

皆様に於かれましては新年度を向かえ、新たな1年間の青年部活動の計画等忙しい日々をすごされていることと存じます。又、平素より全青中への深いご理解、ご協力いただいております事に心よりお礼申し上げます。

中小企業を取り巻く厳しい環境の中、アベノミクスに掲げられた一連の経済政策に呼応するように昨年より参加していた中小企業政策審議会“ちいさな企業”未来部も5回の開催を終え、小規模事業者に光を当てた中小企業政策の再構築や資金調達・事業再生等今までに無い税制、法制、助成制度が決定し日本の99%を占める中小企業に活力を与える施策が決定したところです。皆様の企業活動の一助となるように活用をしていただければ幸いです。

過去に開催された代表者会議において、青年中央会の課題の一つに「知名度の低さ」が挙げられていました。昨年20周年を迎え、これを機にビジネスを前面に押し出し、知名度アップを促すような、青年団体らしい「呼び名」は無いものかと模索しておりました。

そんな中、昨年11月に愛・地球博マスコットのモリゾーとキッコロ、せんとくんの命名で著名な西川りゅうじん様とお会いする機会をいただきました。私から「全国中小企業青年中央会」の概略を説明していくと中小企業団体中央会の英訳「National Federation of Small Business Associations」について、Small Businessはちいさな企業を意味し、ビジネス自体も小さく印象づけている。日本企業の99%を占める、しかもグローバルスタンダードとなっている中小企業は、特に青年部に於いて、正式名称はそのままとしても、青年経済人に親しみ易く、ビジネス交流を中心とした日本最大の異業種団体を前面に押し出した呼び名が必要なのではないかと鋭いご意見をいただきました。

そこで、ビジネスという共通の目的のために結びつく団体の意味を込め「United Business Associations」、略称「UBA」の提案もいただきました。

私も、この提案に同感でありこれを機に全国のメンバーの意識高揚と活性化の一助となるのではないかと考え全青中役員に提案したところです。

全国ではそれぞれの活動の中で呼称を設定され地域に根差した活動を展開されている青年中央会もある中、「UBA」の呼称を全国一斉に使用することはできな
いまでも、まずは全青中を中心に進めてまいりたいと思います。

6月に行われる平成25年度通常総会（愛媛）にて、通常の議案に加え綱領の策定等これからの全青中を示していく議案の検討も山場を迎えてまいりました。十分な検討の基に上程させていただきたいと思います。当日はよろしく願いいたします。愛媛総会でお会いいたしましょう！



会長活動記録

- 12月22日 友好青年4団体TOP会談 東京都
(上山会長・堀井直前会長・寺本副会長・中野副会長・佐藤理事・多田理事・山縣監事・山口理事)



日本商工会議所青年部主催狼煙（のろし）会議：4団体で情報を共有し政治、行政に関わる若手国家公務員を交えて、被災地の現況と多くの意見を整理しながら、被災地の「真の復興」の実現に向け諸問題にどう取り組むべきかを熱く議論を交わす狼煙（のろし）会議に出席

- 2月4日 正副会長WEB会議（上山会長・寺本副会長・中野副会長）

- 2月6日 商工会青年部連合会全国大会 徳島県（中野副会長）

- 2月10日 友好青年4団体TOP会談 京都府（上山会長・寺本副会長・中野副会長）

各団体の事業報告について意見交換し、YEG次年度会長予定者阿部賀寿男氏（宮城県）JC次年度会頭予定者小畑宏介氏（秋田県）の紹介と新年度事業計画についての協議



- 2月15日 高知県組合青年部活性化フォーラム 高知県（上山会長・中野副会長）
写真・詳細については別紙掲載

- 2月18日 正副会長WEB会議
(上山会長・寺本副会長・中野副会長)

- 2月20日 全青中役員会

友好青年4団体会議内容、全青中だより構成についての報告と記念誌、三重県全国講習会、開催ローテーション、義援金、会則、綱領、愛媛総会について協議しました。





○ 2月24、25日 仙台、福島視察

(上山会長・若生宮城県会長)

2月24日から仙台、福島と伺ってきました。当日は、宮城県中小企業団体青年部会連絡協議会の若生会長、奥様が案内してくださいました。休日の午後に心暖まる対応をしていただき感謝いたします。全景は多賀城にあるイオンの3階駐車場から

塩釜港を見ている写真で若生会長の後ろに写っている事業所は奥様が経営されている会社です。

当日は3.11と同じ天気だというお話。気温は零下、吹雪いています。視界の悪い状況にいきなり津波が現れたのでしょうか。事業所は無残に津波に押し流されていったそうです。

その後、福島県に入りました。立ち入り禁止区域近辺はゴーストタウン、お店は殆んど閉まっています。解除された地域には住人が戻ってきているようですが、生活できるのでしょうか? 南相馬市と浪江町の境界で立入禁止となりました。

翌日は、福島県中小企業団体中央会事務所にお邪魔し、2組合の事務所でお話を聞きました。現地に伺わないと分からないことばかりです。是非皆さんも機会を作って行って下さい、そして、風化させないように一緒に考えましょう。

○ 2月25日 経済産業省未来会議 (上山会長)

○ 2月26日 経済産業省プラットフォーム準備委員会 (上山会長)

○ 3月8日 友好青年4団体TOP会談 沖縄県 (上山会長・寺本副会長・中野副会長)

日本商工会議所青年部全国大会(沖縄県)の場にて自民党青年局長小泉進次郎氏をはじめとした国会議員4名を交えて全国友好4団体会長の8名にて「被災地が真の復興を遂げるために「INNOVATION」を起こそう」をテーマに意見交換をおこなった。



○ 3月19日 東海・北陸ブロック交流会 石川県 (上山会長・寺本副会長)

3月19日、東海北陸ブロック全体研究会に伺ってきました。

研究会は2部構成になっており、1部は寺本副会長の後輩、三和メッキ工業株式会社の清水専務による「継続するための進化論」残念なことに宮崎発の機材の整備不良で遅参し講演会は参加できませんでした。



しかしながら、懇親会でお話させていただき素晴らしいパワーをいただきました。

2部は「ビジネス交流懇親会」飲食をしながらのテーブルディスカッションです。各テーブルには異業種、同じ組合の方が重ならないように配席され一つのテーマに絞ってセッションが行われました。後半は、各テーブルにより発表です！正副会長も講評をするように指示され、私も共有する悩み等に少しばかりアドバイスさせていただきました。

アルコールが入っての意見発表会に盛り上がりました。

詳しくは石川県中小企業団体中央会facebookページをご覧ください。

<http://www.facebook.com/icnet.ishikawa>

谷ブロック長、直江会長他各県の会長の皆様ありがとうございました。事務局の皆さん大変お疲れ様でした。

○ 3月25日 正副会長会議 東京都 (上山会長・寺本副会長・中野副会長)



上山会長をお招きし 「組合等青年部活性化フォーラム」を 開催しました!

高知県中小企業青年中央会

【新年交流会】

- 開催日時 平成25年2月15日(金) 午後4時～
- 開催場所 高知市九反田9-15「ホテル日航高知旭ロイヤル」
- 基調講演 「組合青年部のあるべき姿と全青中の取り組み」
 ≪講師≫ 全国中小企業青年中央会 会長 上山泰寛 氏
- ディスカッション ・変化する時代の中で青年部が果たすべき役割
 ・青年部がその役割を果たすにあたり直面している課題
- 参加者数 35名

高知県中小企業青年中央会では、厳しい経営環境が続き、青年部活動が停滞傾向にある中、会員青年部がそれぞれの現状認識と抱える課題を共有し、今後の活性化に向けた取り組みにつなげていくことを目的として、「組合等青年部活性化フォーラム」を開催しました。

始めに基調講演として、全国中小企業青年中央会（全青中）・上山泰寛会長より、「組合等青年部のあるべき姿と全国中央会の取り組み」と題して、同会長が宮崎県中央会青年部に参加し始めたころから現在に



高知県・山本会長の挨拶

至るまでのご経験をもとに、青年部及び青年中央会に対する期待や思いについてお話しいただきました。その中で特に、青年中央会と他の青年団体との最大の相違点は、会員が組合等の青年部であることであり、他の組合青年部と交流し、切磋琢磨することで、組合及び業界の将来の活性化につなげていくことが重要な役割であるということを強調されていました。



ディスカッション風景

続いて、参加者を4グループに分け、「混迷する時代の中で組合等青年部の果たすべき役割」と「組合等青年部がその役割を果たすにあたって直面する課題」という2テーマについて、グループディスカッションを実施。基調講演いただいた上山会長のほか、四国を代表して徳島から駆けつけていただいた四国ブロック会長で、全青中・副会長でもある中野寿之氏にも飛び入り参加していただき、熱い議論が交わされました。ディスカッションの最後には、全4グループから、青年部の課題及びその要因として、以下のようなことが意見として発表されました。

【青年部の不活性化】

- 会員企業の経営悪化
- 青年部員の高齢化
- 活動に魅力を感じにくい
- 真新しい事業が見つかりがたい

【親会との関係】

- 親会の執行部がいつまでもやめない
- 親会が保守的、青年部に対して否定的
- 親会とのコミュニケーション不足
- 親会に対する青年部の提案力不足

【活動メンバーに偏りがある】

- 青年部の目的が明確でない
- メンバーにより会社での立場が異なる
- 自分の商売と組合のつながりが不足している

今回のようなグループディスカッションは初めての試みでしたが、グループで共通の課題（発表用資料を完成させ発表する）に取り組む形をとったため、参加者は積極的に議論を行い、目的とする青年部の課題の共有と問題意識の顕在化を図ることができました。

次年度は、これをベースに、個別の青年部の課題整理と改善方策の策定に取り組むこととしており、これらを通じて、組合等青年部及び青年中央会の活性化につなげていきたいと考えています。

交流会終了後、午後6時半からは恒例の新年会が開催され、全青中・上山会長、中野副会長を囲みながら参加者同士、楽しく交流・親睦を深めることができました。



中野副会長乾杯



懇親会風景

全国中小企業青年中央会 平成25年度通常総会



愛媛

平成25年

6月28日(金)

13時00分～20時30分

道後プリンスホテル

愛媛県松山市道後姫塚100
☎089-947-5111

ごあいさつ

このたび、愛媛の地「道後温泉」において全国総会を開催する運びとなりました。

皆様をお迎えするにあたり、愛媛のメンバーはもちろん、香川、徳島、高知の四国ブロックのメンバーが一丸となって取り組んでおります。

四国・松山で全国各地のメンバーの方々が共に熱く語り合い、青年中央会の未来に、さらに、皆様方企業の繁栄に繋がる総会になればと願っております。

愛媛そして四国には、豊かな自然と温かい人情があふれております。ぜひ、この機会に訪れていただきますようお願い申し上げます。

愛媛県中小企業団体中央会青年部協議会
会長 金井 芳臣



松山●坊っちゃん列車



今治●しまなみ海道

四国は愛媛県松山の地で全青中全国総会を開催いたします。

開催場所の道後は大変有名な観光地でございます。

この素晴らしい街「道後」で全国から集まる仲間と熱く語り、そして絆を深めたいと思っております。四国ブロックが一丸となり、愛媛県中央会青年部のメンバーが中心に、全国から集まる仲間を迎えそして、我々の目指すあるべき姿へ繋がる一歩になるよう頑張っております。

全国から大勢の皆様が参加して下さるのを心待ちにし、平成25年6月28日に「道後」でお待ちしております。

香川県中小企業団体中央会青年部
会長 土居 正明



金井会長以下、愛媛の皆様は、連日連夜、熱い気持ちを持って全国の仲間を迎えるための準備に奮闘されていることと思います。

お忙しい中何かと大変だとは思いますが、来ていただいた皆様に愛媛、四国の魅力を存分にアピールし、そしてまた、愛媛県、他の四国三県に遊びに来て貰えるような楽しい総会にして頂きたいと思っております。

高知のメンバー一同、平成16年高知で全青中総会を開催させていただいた時のご恩は忘れていません。同じ四国ブロックの仲間として出来る限り協力させていただきます。

「四国は1つ!」力を合わせて頑張りましょう。全国の皆様、4年ぶりに四国へお帰りなさい。

四国は小さい島ですが、4県それぞれ特徴があります。今回、四国で3回目の全青中総会となりますが、これまでとはまた違った雰囲気が味わえると思っております。

四国ブロック一丸となって、しっかりと準備をまいりますので、どうぞたくさんのお越しにだけどもう、よろしく願いいたします。

高知県中小企業青年中央会
会長 山本 勘介

愛する皆様、こんにちは。

徳島県中小企業青年中央会 田村茂人です。

この度は、四国は愛媛県で行われる全国総会の開催についての応援メッセージを同じ四国の仲間として、全国の愛する皆様へ送りたいと思っております。愛媛県中小企業青年中央会、金井会長をはじめとして、数多くのメンバーを揃えております。また、愛媛県は道後温泉をはじめとして観光地としても大変有名であり、著名人も数多く訪れる街でもあります。

そんな、観光都市、愛媛県で行われる全国中小企業青年中央会の総会を四国の仲間として応援しております。四国はひとつやけんこれを合言葉に全国より皆様のお越しをお待ちしております。それでは愛する皆様。是非とも、全国総会へ起こしてくださいませ。お待ちしております。金井会長。頑張ってくださいませ。

徳島県中小企業青年中央会
会長 田村 茂人

ブロック・都道府県青年中央会

取組 状況

■ 四国ブロック

四国ブロック中小企業青年中央会では、毎年、通常総会、四国ブロック交流会議、四国ブロック会長会議を実施しています。

平成24年度のブロック会議では、各県会長より青年中央会の独自の取り組みについて発表を行い、基調講演として愛媛大学理事・副学長 矢田部龍一教授を招いて「東南海・南海地震に備えて」と題して講演会を併せて実施し、情報交換を行いました。

また、ブロック会長会議では、全国的な動きとなってきた「営業部女子課」の活動を徳島で推進している花咲か特派員を講師として迎え、営業部女子課の取り組みについて情報提供を受け、その後、次年度の愛媛大会の人員動員計画や友好4団体で取り組みを進めるJC-AIDを始めとした各議題について協議を行いました。

※営業部女子課とは、

営業部女子課とは、「営業部女子課」は、2009年12月に立ち上げた現役女性営業のための無料の勉強会です。

女性営業職の方は、会社内に同じ女性営業が少ないことで孤立感を味わったり、女性の強みをどう営業に活かせばよいかもわからないことを悩みのひとつとして抱えています。

「業績を上げるには?」「どういう顧客にアプローチすればよいのか?」など男性の上司や先輩に聞くことはできますが、女性



特有の感情を理解した上での回答が得られないために、社内では「相談者がいない」という女性営業の方がとても多いのです。また、女性としてのライフイベント（結婚、出産、子育て）を控えた直面し、就業し続けることへの不安もあり、その悩みをひとりで抱え、結果退職されているケースが後を絶ちません。

女性でも男性と同じフィールドでチカラを発揮したいと思われる方がたくさんおられます。

よくある勉強会では、大人数で一方通行の授業形式をとることも多く、もう一步踏み込んだ学びが欲しいという声を耳にします。だからこそ私は、完全参加型を目指すべく少人数にこだわって開催を続けて参りました。

女性営業の横のつながりを創りたい。仕事では結果を出しながらプライベートも充実した人生を送りたい。営業スキルアップをはかりながらも、女性らしさを失わない。「賢くてカワイイ」存在を目指す営業女子が、等身大のまま繋がれる場所をつくりたい。女性営業力で日本社会を活気づけたい。

営業部女子課の今後の活動について

花咲かプロジェクト47（営業部女子課を全国47都道府県に広げる挑戦）を通じて、全国各地に営業部女子課の支部を拡げ、女性の営業職が会社をいう枠を超えて横断的に繋がり、切磋琢磨しながら長く働き続け、リーダーを目指すような意識醸成を目指します。

東京都

東京青中では、2月8日(金)にチャリティ新年会を開催しました。

この運動は、公益財団法人 アイメイト協会（国産盲導犬を初めて日本で誕生）への協力も含め、青中から社会貢献の1つとして始まったことです。

来年は20周年と節目の年になりますので、大々的に何かしようと今から思案中です。

島根県

きっかけは堀井前会長の一言でした。

『島根県も是非友好4団体の交流を深めてください。』

平成24年2月に行われた、商工会青年部全国組織化45周年記念大会（和歌山大会）の懇親会の場に於いて、参加していた島根県商工会青年部連合会会長の和田誠氏に、来賓として出席していた当時の全青中会長堀井聖介氏が熱く語ったことが全ての始まりだった。

その2ヶ月後の4月11日に島根県出雲市で行われた「ちいさな企業未来会議」地方会議に私が出席した際、隣席になった和田会長から島根県でも友好4団体で集まろう

連携し地域活性化

県内の経済関係などの青年組織4団体が20日、連携して地域活性化に取り組みため、締結書に調印した。定期結書に調印した。定期的に意見交換や情報交換を行い、知恵を出し合って具体化させる。

4団体は、県商工会青年部連合会（和田誠会長、549人）▽県中小企業団体青年部連合会（渡辺学会長、350人）▽県商工会議所青年部連合会（土江敏晴会長、507人）

低迷という共通課題も抱えることから、協力関係を築いた。松江市母衣町の県商工会館であった調印式には、各団体の役員らが出席。今後、会合を減らすに併せて、若者部員数の増やを申し合わせた。

県商工会青年部連合会会長、誠和道路（益田市久城町）の和田社長は「地域経済の発展が一つの目的。協力し、県全体を盛り上げていきたい」と話した。



敏晴会長、507人）▽低迷という共通課題も抱えることから、協力関係を築いた。松江市母衣町の県商工会館であった調印式には、各団体の役員らが出席。今後、会合を減らすに併せて、若者部員数の増やを申し合わせた。

県商工会青年部連合会会長、誠和道路（益田市久城町）の和田社長は「地域経済の発展が一つの目的。協力し、県全体を盛り上げていきたい」と話した。

山陰中央新報に掲載された記事

と思うとの声かけをいただき、是非やりましょうと快諾した。その会議には松江市のJCの理事長・YEGの会長も出席しており、彼らもその話を共有してくれた。当面の窓口は商工会青年部連合会様になっていただき、それぞれの団体代表者のスケジュール調整など経て、ようやく平成24年11月8日に初めて4団体の代表者を含む23名が一堂に会し、各団体の紹介にはじまり今後のあり方などについて意見交換をおこなった。その後の懇親会の場は大いに盛り上がり、『これはそれぞれの団体にとっても歴史的な出来事、いっそのこと締結式までやりましょう』と話はとんとん拍子に進み、準備を進めた。

そして年の明けた平成25年2月20日、松江市に於いて調印式が執り行われた。

鳥取県

鳥取県中小企業組合青年部協議会は、本年度鳥取県中小企業団体中央会が実施する『組合次世代リーダー育成事業』に参画した。

本事業は、1 青年部組織設置の促進、2 現地研修支援、3 組合次世代リーダー育成塾の開催を主な柱として実施するもので業界の発展、地域の振興を牽引する組合の次世代リーダーを育成する事業。特に、年六回開催された育成塾に参加した青年部員からは、「メンバー間での繋がりと信頼関係を築けた」「習得したスキルを組合活動や青年部活動に活用していきたい」「メンバー間のネットワークを発展させビジネスに繋げたい」など意見があり、次年度も中央会と連携し、事業参画に努めていく。



香川県

■概要

会員数 28会員（平成24年12月現在）
 会長 土居 正明
 役員構成 会長1名、副会長7名、
 監事2名

■活動内容

講習会・セミナー・視察研修会
 会員が実施する活動に対する支援
 交流会やボウリング、ゴルフコンペなどの親睦行事

■直近の取り組みについて

上記の事業に加え、平成24年度は、香川大学と連携し「留学生と青年経営者の集い」を開催しました。交流を通じて相互理解を図ることを目的としたものです。当日は活発な議論がなされ、参加者からも好評でした。

また、平成25年11月2日(土)に、「第1回中央会青年部まつり」を開催することが決定しました。初のイベントを成功させるべく、役員が中心となり話し合いを重ねています。

各青年部が実演・展示・各種商品の販売等趣向をこらしたブースやステージを展開します。

瀬戸内国際芸術祭2013の会期中でもありますので、ぜひ、香川へ足を運んでみて下さい。



留学生との集い



視察研修会（浅草にて）

徳島県

徳島県中小企業青年中央会は、平成24年6月25日に青年中央会と徳島商業高等学校の校内模擬会社「ComCom（コムコム）」の間で、ホームページ作成や商品開発などを連携して進めて行くための包括業務提携を締結し、Googleの提供する「みんなのビジネスオンライン」を活用し、青年中央会の会員青年部企業を対象にホームページ作成支援の推進や会員青年部と連携し、徳島独特の和菓子の開発にもチャレンジし、友好団体の徳島商工会議所青年部の主催するとくしまB級グルメフェスティバルへ出店し、少し話題にもなりました。

また、別の新規事業として、徳島県は、「糖尿病死亡率全国ワースト1位」を記録するなど健康が大きな課題となっていることから、青年中央会では、若いうちから健康作りを習慣づける必要があるとの見解により、青年部会員である青年経営者・後継者等を対象に、平成24年度チャレンジ！青年中央会PR事業として、健康増進を図ることを目的にマラソンプロジェクト実施しています。



高知県

高知県青年中央会では、平成22年度、「ビジネス連携カタログ」を製作し、以来、構成企業間のビジネス連携を促進するため交流会や講習会を行い、いくつかの取り組み事例も生まれました。その一方で、青年中央会を直接構成する組合青年部の中には、業界構造や経営環境の変化もあって、活動が停滞傾向にあるところも少なくありません。

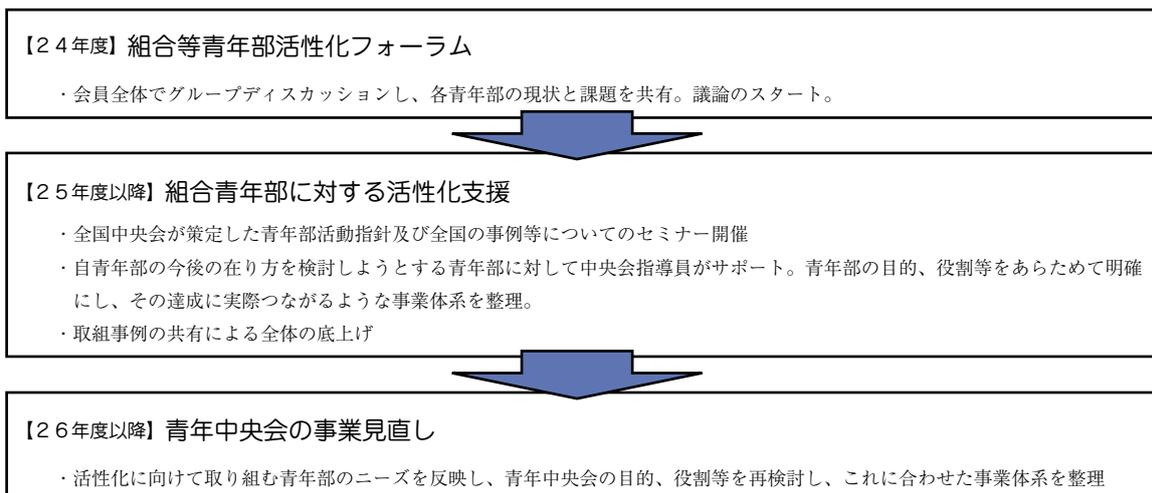
現在、中小企業の経営環境は、人口減少に伴う市場の縮小、高齢者人口比率の増加、インフラ整備による事業圏の拡大、グローバル化、情報化の進展、環境問題等、過去の経験だけでは対処できない変化が起

きており、青年部の目的や役割も見直しが迫られています。

そこで平成25年度は、組合等青年部の活性化を促進するため、青年部の目的、役割を再定義し、活動内容を見なおそうとする会員青年部に対して、中央会がサポートしながら検討を進めていく、青年部ビジョン策定支援事業を実施することにしました。

高知県青年中央会では、下図のような流れで、本年度の「組合等青年部活性化フォーラム」を契機として、今後、会員青年部の活性化支援とそれに合わせた青年中央会の事業の見直しを進めていき、ひいては、「各組合及び業界の将来を担う人材育成」という目的の達成を目指します。

■高知青年中央会の今後の取り組み



長崎県

「平成24年度事業実施状況について」

○幹事会の開催…17:00～中央会会議室
(原則、毎月1回)

○一般事業及び親睦事業

- ・スポーツ交流大会 平成24年11月10日(土)
【ゴルフ部門】
大村湾カントリー倶楽部オールドコース
- 【ボウリング部門】 大村Jボウル
- 【交流懇親会】 長崎インターナショナル
ホテル 25名参加

○自主研修事業への助成

- ・長崎市管工業(協)青年部 10万円補助
6月16～17日実施、大分県
八丁原地熱発電所の再生可能なエネルギー発電施設の視察、うみたまご水族館の海水浄化施設の視察を通じて、技術及び設備知識の向上を図る。
- ・長崎県クリーニング生活衛生同業組合青年部 10万円補助
2月23日実施予定
宮崎県で開催される業界の九州大会への参加費補助『次なる技術革新』

○中央会事業「中小企業連携組織支援事業」への参加

* 青年部活動実態調査事業

事業推進委員会 6回開催（メンバーは青年部役員）

アンケート調査H24.9.3～21（調査対象401組合、回答数140組合 回答率35%）

H24.11.22 青年部連携交流会

【基調講演】初志貫徹～新たなる挑戦～

(株)中村輪業 代表取締役 中村 耕一 氏

【グループディスカッション】

コーディネート役:竹下戦略塾 竹下幸也氏

【交流懇親会】着座テーブルでの懇親・意見交換

* 青年部研修会（組合人材養成研修会）の開催

H25.2.8(金)「商売繁盛に繋がるっておきの手法！」

(株)スプラム 代表取締役 竹内 幸次 氏

* 組合等運営問題研修会への参加

・波佐見陶磁器工業協青年部

3/8 天草陶石の現状把握 視察

・長崎浜市商店街(振)青年部

3/6,7 駅前再開発 (株)大分まちなか倶楽部 視察

全国講習会開催地決定!!

開催日 平成25年11月8日(金)

場 所 三重県四日市市
四日市都ホテル

※詳細につきましては、順次掲載してまいります。

編集後記

今回、全青中だよりの編集を受け持ち、まず心掛けたのは読みやすいこと、メールで配信されるものをどれだけの方が目を通していただろうかと考えたときに、肝要な部分ではないだろうかと思います。

今回は、昨今の各都道府県青年中央会活動、単組青年部活動に対し、マンネリ化、衰退傾向、会員減少の声を多々耳にするなかで、活動のヒントとになりうるかと思い「ブロック・各都道府県青年中央会の取組状況」を初めて掲載しました。今後の活動の参考していただくと幸いです。

各都道府県の取り組みは興味深いところがあり、活動にジレンマを感じている他のメンバーを助けるものになると思いますので、次回には数多くの寄稿をお願いします。

全国中小企業青年中央会 理事 金井 芳臣